



みんなで取り組む住民自治のまちづくり

● 現状と課題 ●

当町においては、自助、共助の考えのもと、身近な防災や環境の保全・美化活動、見守りや支えあいといった福祉に関することなど区（自治会）活動を中心として地域づくりが展開されており、当町の個性を生み出すとともに、強みとなっています。しかし人口減少や高齢化とともに、一人暮らしや一人親家庭、外国人住民や福祉の面で支援が必要な人が多くなっている現状において、持続可能なまちであるためには住民主体の活動が今後ますます重要となります。

コミュニティ意識を高め、自治活動への参加を促すとともに、情報提供や地域間での情報交換の機会づくりなどを進めることで、他地域でも参考となるような効果的な取り組みが広がることにより、地域主体で一人ひとりが支えあうまちづくりが求められています。

● 目指す方向 ●

① コミュニティ意識の向上を図ります

② 住民自治団体の充実を図ります

③ ボランティア・NPO団体との連携を図ります

④ 自治活動環境の充実を図ります

現在は、まちづくりに対する関心が薄れ、特に若い世代における地域での関係の希薄化が懸念されていますが、住民自治においては、世代を問わず、みんなが自主的に考えてまちづくりに参加するという意識が求められています。

核家族化、少子高齢化や価値観の多様化が進み、多くの担い手が求められているのに対し、地域でのつながりの希薄化などにより、協力し合って地域づくりを進めるという意識が薄れ、ボランティアなどの活動団体数が減少しています。このことに加えて、時代に合ったボランティアの検討も必要であることから、ボランティア参加者の負担軽減なども検討しながら、区（自治会）の活動はもちろん、新たな課題に対応するボランティアやNPOなどの活動の活性化と団体間での連携による効果的な活動が求められます。

今後の高齢化が進む地域の中で、持続可能で活力あるまちづくりを進めるためには、住民が地域に積極的にに関わり、その人たちが持つ知識や技術がまちづくりに活かされるしくみが求められるとともに、地域の課題を自ら解決する力を高めていくことが求められています。住民同士、または住民と行政がお互いの立場と役割を理解した協働のしくみづくりが必要です。

● 関連する個別計画 ●

・各地区コミュニティセンター長寿寿命化計画(④)

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりについて考え、自分でできることを実践する ・地域交流の場に参加する ・自治会に加入して、地域に関心を持って交流し、地域の課題について考える ・近所で挨拶などを交わし、顔見知りを増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治活動参加への重要性等の啓発を行う ・住民が住民自治や地域づくりの活動に参加できる体制の整備を図る ・地域活動に対する有益な情報を提供する ・住民自治活動、地域組織の活動に対して財政的支援を行う ・各区相互間の活動連携を図るための調整をする